

2008年9月

# NPOだより あだちの轍

## 目次

団体のパンフレット・チラシを定期的に送ってください.....	1面
協働推進課より.....	2面
NPO訪問記(足立さくら会に行ってきました!).....	2面
区内NPO団体からのお知らせ.....	3面
Q&A教えて先生!NPO専門相談員に聞くNPOマネジメント....	3面
新着助成金情報.....	4面
H20年9月~11月センター主催の講座・イベント.....	4面

発行・編集 足立区NPO活動支援センター  
 〒123-0851 足立区梅田7-13-1  
 TEL:3840-2331 FAX:3840-2333  
 Email: npo-sc@adachi.ne.jp  
 URL: http://www.city.adachi.tokyo.jp  
 開館: 火曜日から土曜日  
 午前9時~午後8時(月末は5時まで)  
 (祝日・年末年始は休館)  
 担当所管 足立区 協働推進課  
 電話 03-3880-5111(代)

## 団体のパンフレット・チラシをセンターに定期的に送って下さい!

協働推進課の全面協力で、区役所本庁舎中央館2階の「協働プラットフォーム」にみなさんの活動をPRするスペースができました!

団体を紹介するパンフレット  
 会員・スタッフ・ボランティア募集のチラシ  
 団体主催のイベントや講座などのチラシ

などを設置することができます。区民のみなさんに活動を知ってもらえる絶好のチャンスです! 機関紙やメールマガジンにも掲載しますので、団体主催のイベントや講座のチラシは、**実施ごと**にご持参もしくはご郵送ください!

### ルール!

PR協力は**団体紹介シート提出団体のみのサービス**です。シートのご提出がお済みでない団体はセンターまでご一報を!(任意団体については審査があります)

PRしたいものを、**定期的に**「20部程度」センターにご郵送・ご持参ください。機関紙やメルマガへの掲載には、**申し込み期限がある**のでセンターに事前に問い合わせを!

**勝手に置くのは厳禁!**パンフレットやチラシの部数管理はこちらでおこなっておりますので、把握していないものは撤去しますので、ご了承ください。



区民のみなさまへ  
 センターや協働プラットフォームには情報がいろいろとあります。ぜひ一度お立ち寄り下さい。みなさまのお越しを、スタッフ一同よりお待ちしております。

今号は、団体の講座・イベント情報が盛りだくさん! 挟み込まれている特別号をチェック!

いきがい発掘講座・これからのご案内

ステップ3 NPO活動のヒントが満載の講座

- NPO早わかりガイド・お金のやりくり編  
日時 9月27日(土) 午前10時~午後4時  
場所 こども家庭支援センター
- NPO早わかりガイド・宣伝の効能編  
日時 10月4日(土) 午前10時~午後4時  
場所 こども家庭支援センター
- 楽屋裏までお見せします!シニアNPO  
日時 10月11日(土) 午後1時30分~午後4時  
場所 NPO活動支援センター
- グループたちあげのツボをおさえてめざせNPO  
日時 10月18日(土) 午前10時~午後4時  
場所 こども家庭支援センター

団塊世代のためのブログ入門講座(全4回)

日時 = 10月26日(日)・11月1日(土)・8日(土)・22日(土) 午後1時30分~4時30分 場所 = 生涯学習センター(まなびピア21)  
対象 = 足立区内在住・在勤でおおむね団塊世代のパソコンが使える方  
内容 = ブログ(web日記)の作成を基礎から学び、運営公開を目標にします。  
講師 = NPO法人シニアわーくす Ryoma 21 他  
テキスト代実費 定員 = 10名(申込多数の場合抽選)  
申込 = 電話・ファクスで住所・氏名・所属する団体名・電話番号・Eメールアドレス・「ブログ講座」を連絡 期限 = 10月22日(水) 必着  
申・問先 = 協働推進課 TEL(3880)5020 FAX(3880)5613、Eメール npo@city.adachi.tokyo.jp



NPO訪問記 vol.5

足立さくら会に行ってきました!

このコーナーはNPO活動支援センターのスタッフが、頑張るNPO団体の皆様のところにお邪魔し、活動についてインタビューをしたものをまとめた【NPO訪問記】です。団体の皆さんの熱い想いをとくとご覧あれ!

お話を聞かせてくれた方: 代表 瀧脇 美佐子さん

「主な活動内容について教えてください。」

瀧脇さん: 高次脳機能障害を持つ患者の家族間ネットワークを中心として、情報交換や普及啓発のための勉強会などを実施しています。主な活動内容としては、以下の4つが挙げられます。

- 高次脳機能障害の患者や家族の交流会、情報交換会の実施
- 会報の発行
- 高次脳機能障害に関する講習会・勉強会の開催
- 自主作品作成や畑作業への参加

「活動を始めたきっかけは何ですか?」

瀧脇さん: 高次脳機能障害の患者を持つ家族の支え合いや情報交換が必要だと感じ、家族会のようなものを作るきっかけとして、竹ノ塚の地域学習センターで講演会を実施しました。その講演会を契機に、講演会内容の振り返りを目的として家族で集まる会合を3回ほど持ったところ、高次脳機能障害について相互に理解が深まり、非常に良い機会となりました。高次脳機能障害は、目に見えない障害であり、ご自分の障害を認知することができない症状の方もいらっしゃいます。そのため、障害をお持ちの方自身も、あるいはその家族や周囲の方々も、それまで自分ひとりで悩んでいたことが、家族会を通じて「自分だけじゃなかったんだ」とわかるだけでずいぶん気持ち楽になるんです。そんなことから、家族会の必要性をみんなが感じて繰り返し集まるようになり、平成13年に会として正式に発足しました。当時は8名の会でしたが、毎年講演会を実施する中で徐々にメンバーが増え、平成20年現在では、36世帯が参加する規模になっています。

「今までで一番大変だったことを教えてください。」

瀧脇さん: 西新井のギャラクシティにロッカーを借りられるようになる前は、活動用の荷物を世話人(会員の中の主要メンバー)で分担して持ち帰っていました。これは、個々の世話人に対して人的な負担を強いていました。しかも、ある人が事情で休むと、その方が分担していた荷物が無い前提で活動しなければならぬなど、活動内容にも支障が出るがありました。ギャラクシティにロッカーを借りられるようになり、さらに今では活動拠点ができ、世話人の預かる荷物もなくなりましたし、荷物の受け渡しを考えることもなくなって、負担が軽減されました。

「逆に嬉しかったことは何ですか?」

瀧脇さん: やはり、活動拠点が出来たことですね。上でも触れましたが、荷物の置き場所という意味では非常に助かっています。押し花ハガキ専用の、糊付け機械も置けるようになりました。また、本来の家族会として自然に集まる交流の場となり、定期的なデイサービスの活動拠点となり、相談支援のための場にもなっています。活動拠点が出来たことは、本当に大きな意味を持っているんです。

「今年度は助成金も獲得されましたね。法人化も検討されていますし、それらを含め、今後の展望をお聞かせください。」

瀧脇さん: ファイザー株式会社の助成金は、次期申請も挑戦するつもりです。活動拠点を足掛かりに事業基盤を安定していくためにも、このような助成をいただくことが(3面の上へ続く)



拠点に設置されている、押し花ハガキ専用の糊付け機械



押し花ハガキは、一枚一枚丁寧に手作業で仕上げる



まだまだ必要なんです。また、法人化を目指し、それに伴って団体としての体力をつけることで、区との協働事業を展開できるようにもなりたいです。そのためにも、いまだ認知度が高いとは言えない高次脳機能障害について、より多くの方々に知ってもらう機会を提供していきたいと考えています。たとえば、9月21日(日)に竹ノ塚地域学習センターで実施する「秋桜コンサート」などは、専門家の医学博士の講演会と、日ごろの活動の様子を来場者に見ていただくプログラムも予定しています。こうした機会に、まずは高次脳機能障害について知っていただき、情報交換や交流のきっかけを作ることも、大切なことだと考えています。今後も認知度向上のためのPR活動をドンドン展開していくつもりです。

**足立さくら会** 〒120-0012 足立区青井3-25-1  
03-3840-5180(TEL/FAX)  
メールアドレス: adachisakurakai@yahoo.co.jp  
ホームページ: <http://www.sepia.dti.ne.jp/adachisakurakai/>

足立さくら会の活動拠点では、障害をお持ちの方も、その家族の方も、ワイワイガヤガヤと明るく賑やかに活動されています。「今までで一番大変だったことは？」とお尋ねしたところ、初めは「うーん、大変だったことなんて忘れちゃうから思いつかない…」と考え込まれた、そんな瀧脇さんの明るく前向きな性格も、足立さくら会の雰囲気を象徴しているのですね。次回は、「NPO法人IT支援センター」のご紹介です。ご期待ください！  
相談員 村上

## オススメ書籍のご案内



「社会を変える」を仕事にする  
- 社会起業家という生き方  
駒崎弘樹(こまざきひろき)著  
英治出版(2007年11月)  
ISBN978-4-86276-018-0  
1,470円(税込)

病児保育に取り組むNPO法人設立の経緯を、ストーリー仕立てで気軽に読み進められます。地域・住民・企業・行政、周囲のさまざまなセクターを巻き込むことの重要性を教えてくれる一冊です。



裸でも生きる  
- 25歳女性起業家の号泣戦記  
山口絵理子(やまぐちえりこ)著  
講談社BIZ(2007年9月)  
ISBN978-4-06-282064-6  
1,470円(税込)

社会貢献に向けた熱い想いを抱き、紆余曲折の中で一つ一つの困難を乗り越えていく、そんな著者の生き方が感動を呼ぶ一冊です。

## Q & A 教えて先生！NPO専門相談員に聞くNPOマネジメント

Q . 質問：現在は任意団体ですが、NPO法人化を目指して障害者福祉に取り組んでいる団体です。新たな収益事業として、障害者が作った手作りエコバックの販売を行いたいと考えています。どこでどう販売するのか、いくらで販売するのかなど、まだまだ無計画な点がたくさんあるのですが、どのような点に気をつけ、何をしていたらよいのか、教えていただけますでしょうか。

A . 回答：足立区NPO専門相談員 中小企業診断士 松岡 理恵子 先生

ご質問ありがとうございます。障害者の方の手作りエコバックの販売とは、すばらしい企画ですね。ぜひとも成功していただきたいと思います。計画を考える上での注意点は、主に以下の3つです。

1つめは、「マーケティング」です。

エコバックは、現在すでに様々な種類のものが発売されております。市販品より魅力のある商品を作るためには、マーケティングとそれに基づいた商品企画が不可欠です。まずは地域住民のみなさんにご協力いただき、ニーズをヒアリング調査して、(実現可能性を考慮したうえで)それをデザイン・機能・価格に反映させてはいかがでしょうか。

2つめは、「他団体との連携」です。

ものを作る際、販売ルートの確保・拡大は必要不可欠ですが、販路開拓には時間がかかるため、商品企画と平行して早い段階に動く必要があります。まずは、地元地域の企業や行政・その他のNPO団体と連携を図りましょう。またバックの販路というと、雑貨店やネット販売に目が行きがちですが、利用シーンを考えると近隣のスーパーやコンビニ・書店・クリーニング店など、さまざまな業態・店舗が想定されます。地域のネットワークを生かして、いろいろな団体に働きかけてみてください。

3つめは、「事業計画の作成」です。

事業計画・収支計画・資金計画(資金繰り)がないまま事業を行うのは、大変危険です。なぜなら、想定以上に資金流出などのさまざまなリスク要因が存在するからです。しかし事前にいろいろ想定して、詳細にシミュレーションを行うことで、収益事業として成功する可能性を高めることができます。もし事業計画の作成に自信がない場合、足立区NPO活動支援センターの専門相談の窓口をぜひご活用ください。

## 新着助成金情報

# subsidies

平成20年度

花王・みんなの森づくり活動助成

(対象)

公園・学校・施設などで植林や樹木の管理といった緑を増やし、育てる活動

(金額)

上限 100万円

(募集期間)

平成20年10月31日(金) 当日消印有効

(問合せ)

財団法人 都市緑化基金

E-mail midori-info@urban-green.or.jp

〒102-0082

千代田区一番町1-10 一番町ウエストビル5F

TEL: 03-5275-2291

FAX: 03-5275-2331

平成21年度

年賀寄附金配分申請公募

(募集期間)

平成20年11月30日(日) 必着

募集は各社会福祉協議会を通じて

10月頃に案内がきます。

申請をご希望の団体(法人)の方は、

ご準備などおすすめしておいてください。

助成金の詳細については、各募集先にお問合せください。

年賀寄附金配分を申請希望の団体の方は、センターにご一報ください。案内が来次第ご連絡をさせていただきます。

センターにて助成金についての相談も受け付けております。

助成金情報は、メールマガジンでも定期的に発信いたします。

～メルマガ購読者募集中！～

## H20年9月～11月センター主催の講座・イベント(参加費無料)

# calendar

2008年 9月

日	月	火	水	木	金	土
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2008年 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2008年 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

[1] あだちNPOカレッジ テーマ別講座「子育て支援活動をはじめよう」

日時 10月17日(金)・31日(金) 全2回  
午前10時30分～12時

会場 足立区子ども家庭支援センター  
(東綾瀬1-5-17 綾瀬駅下車徒歩3分)

講師 区内外の子育て支援実践者 他  
定員 20名(先着・10月15日(水)まで受付、定員になり次第締切)

保育あり(要予約、生後6ヵ月～就学前の子ども、先着15人で締め切ります)

[2] あだちNPOカレッジ NPO法人設立編

日時 10月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水) 午後6時～8時

会場 足立区NPO活動支援センター  
講師 中森まどか(NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 事務局長)・センタースタッフ

定員 10人(先着・グループの参加可)

[3] あだちNPOカレッジ ステップアップ講座～団体強化講座

その1) 「インターネットを活用した団体活動PR」  
11月7日(金) 午後6時～8時

その2) 「千客万来のチラシづくり」  
11月14日(金)・21日(金) 午後6時～8時

会場 足立区NPO活動支援センター  
講師

その1) センタースタッフ

その2) 桑原 静 (NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 広報担当)

### 申込方法

電話・ファクス・Eメールで、住所・氏名・電話番号・Eメールアドレス(持っている方のみ)・講座名を、NPO活動支援センターまで連絡してください。

機関紙を郵送させていただいた方には申込専用FAXシートが同封されています。そちらを使用し、お申込ください。

赤字は休館日、□は施設点検のため17時で閉館。

印は上記講座開催日。

センターアクセス

営業時間:

火曜日～土曜日

9:00～20:00

休館日: 日・月・祝

年末年始

施設点検日等

早閉日は上記参照



## NPO法人情報

(平成20年7月末現在)

足立区内に主たる事務所を置くNPO法人 135団体  
区内に事務所を持つNPO法人 143団体  
(都認証 119 内閣府認証 24)  
東京都のNPO法人認証数 5,909団体  
全国のNPO法人認証数 35,163団体

## 編集後記

秋が近づいているのか、まだ夏なのか・・・服装に困る今日この頃です。秋は区内の団体さんのイベントが盛りだくさんです。ぜひみなさん、お気に入りの講座を見つけて参加してみてください。センターでもご紹介できますよ (ま)